

町内の小中学校の図書振興のために

国際ソロプチミスト千曲様からご寄附いただきました



国際ソロプチミスト千曲の皆さんより、町内小中学校の図書振興のためご寄附をいただきました。11月18日(木)に国際ソロプチミスト千曲の皆さんが来庁され、宮澤多恵子会長から山村町長、清水教育長に目録が手渡されました。

コロナ禍のため思うような活動が出来ない状況が続いているという中、今年もご寄附いただきありがとうございました。

地域防災力向上のために

町消防団第9分団の消防ポンプ自動車を更新

町消防団第9分団(網掛・小網・月見)の消防ポンプ自動車を更新され、11月20日(土)入魂式が行われました。

第9分団の旧消防車両は、平成10年に配備され、網掛・小網・月見地区を中心に23年間活躍してきました。このたび更新された新型車両により、更なる地域防災力の向上と地域の安心・安全のため、予防消防をはじめとする消防団活動を実施していきます。



ちくま環境エネルギーセンター

試運転開始で火入れ式



▲ボタンを押し焼却炉点火

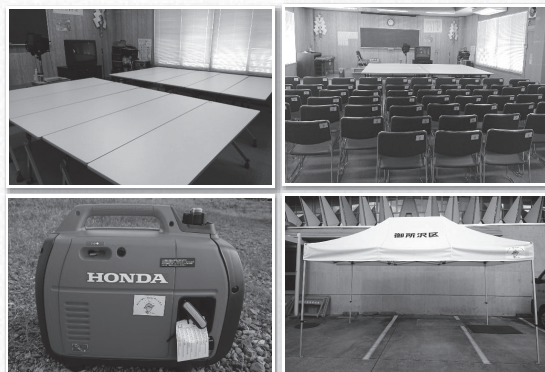
平成30年8月から長野広域連合が千曲市屋代地区に建設工事を進めている「ちくま環境エネルギーセンター」が試運転の運びとなり、12月4日(土)、火入れ式が執り行われました。

長野広域連合関係者、千曲市、坂城町、地元関係者、工事関係等約50名が出席し、新施設の順調な完成と、安心で安全な運営を祈願しました。

「コミュニティ助成事業」を活用して

御所沢区

集会施設の備品を整備



宝くじの社会貢献広報事業の一環で、宝くじの受託事業収入を財源として一般財団法人自治総合センターが実施している「コミュニティ助成事業」を活用し、御所沢区に机、椅子、発電機、テントなどを整備しました。誰もが使いやすい環境整備と行事で使用する備品整備により、活力ある地域コミュニティの形成が期待されます。

耳をそっと傾けて

第2回朗読駅伝「刃-YAIBA-」を開催

11月27日(土)、中心市街地コミュニティセンターで、朗読駅伝「刃-YAIBA-」が開催されました。

平成26年6月に引き続き2回目の開催となった今回は、坂城コーラスの皆さんの「坂城町の歌」「Stand Alone」の美しい歌声から始まりました。



▲朗読した皆さんと鈴木館長

青木裕子さん▶



「朗読駅伝」では、黄色のたすきをかけた青木裕子さんがトップランナーとなり、10名の方で順番に、今回のテーマである「刃」にちなんだ小説や絵本などの朗読が行われ、聞きに来られた方は静かに耳を傾けていました。

青木裕子さんは、元NHKアナウンサーで、現在は、朗読をライフワークとしておられ、長野県軽井沢町に「軽井沢朗読館」を設立し、2013年には軽井沢町立図書館長に就任、現在は顧問・名誉館長としてご活躍されています。

「朗読駅伝」完走後、青木さんから「皆さん、とても自然体で読んでいて、心地良い時間でした。」と講評がありました。また、朗読に参加された方からも「面白かった!」と感想がありました。

皆さんのご協力に感謝

169系電車のボランティア清掃を実施

11月13日(土)、坂城駅前多目的広場で、169系電車のボランティア清掃を行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、人数限定で事前申込み制とし、参加者の方には検温や手指の消毒にご協力いただき実施しました。

169系電車は、平成25年に町に静態保存されてから、毎年、大勢の皆さんのご協力をいただいてボランティア清掃を行っており、今年で9回目となります。169系電車保存会の皆さんと町内外からの一般参加者の方が集まり、車両外側をブラシできれいにしたり、車両内の雑巾がけや窓拭きなどを行いました。

今回清掃に参加してくださった皆さん全員に、限定ピンバッジがプレゼントされました。

